

令和5年（2023年） 11月 6日

報道機関各位

「北総研防火木外壁（PUF仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。

◆ 概要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部 北方建築総合研究所では、外装材に木材を用いた「北総研防火木外壁」の第6弾として、アキレス株式会社が開発する付加断熱材に硬質ウレタンフォーム断熱材（PUF）を用いた防火構造外壁に対し技術支援を行い、「北総研防火木外壁（PUF仕様）」として、アキレス株式会社（申請者：同左）において、建築基準法に定められる「防火構造」の国土交通大臣の認定を取得しました。

この「北総研防火木外壁（PUF仕様）」は、北方建築総合研究所が林産試験場と共同で取り組んだ道総研重点研究「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」（平成29年度～令和元年度）の研究成果をもとに、開発を行うアキレス株式会社に対し、技術支援を行い実現したものです。

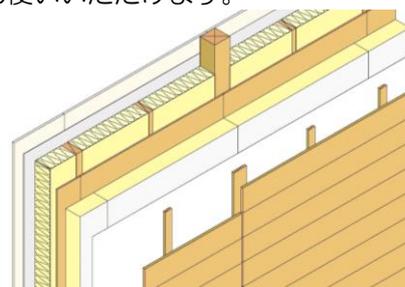
「北総研防火木外壁（PUF仕様）」は、建築事業者に自由にお使いいただけます。

1 大臣認定を取得した外壁名

- ・「北総研防火木外壁（PUF仕様）」

2 大臣認定を取得した外壁の認定番号と構造名

- ・PC030BE-4115（1）～（4）
- ・グラスウール（ロックウール）断熱材充填／
木材・硬質ウレタンフォーム断熱材・構造用面材表張／
せっこうボード裏張／木製軸組造外壁



「北総研防火木外壁（PUF仕様）」

3 「北総研防火木外壁（PUF仕様）」の社会的意義

- ・今回のPUF仕様の大径認定取得により、木造軸組工法では、主要な断熱材すべてで「北総研防火木外壁」を使用できるようになりました。
- ・木材仕上げには、高い人気があり、道民のニーズに対応できます。
- ・法令の防火規制に適合しつつ、可燃材料である木材を外装材に使用できます。
- ・北海道で広く普及する高断熱仕様の外壁であり、特殊な施工を要しません。
- ・道産木材の利用を促進し、道内産業の振興、森林資源の循環に貢献します。

4 「北総研防火木外壁（PUF仕様）」の普及方法

- ・認定取得者であるアキレス株式会社を通じて建築事業者へ普及します。

◆報道に当たってのお願い

多くの皆様に大臣認定を取得した技術を知っていただけるよう、北方建築総合研究所（旭川）にて取材を承ります。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）

- ・建築研究本部北方建築総合研究所 企画調整部企画課（担当者：北谷）

TEL：0166-66-4218 E-mail：nrb@hro.or.jp ※平日8：45～17：30

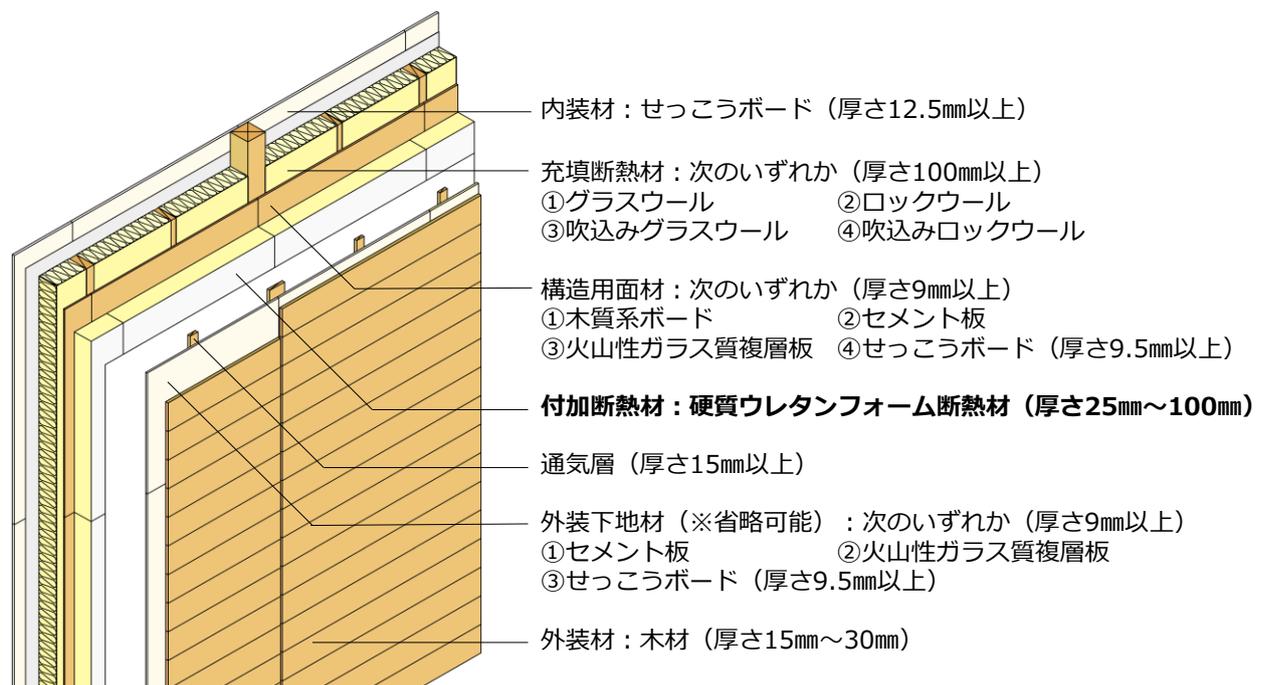
アキレス株式会社

- ・本件へのお問い合わせ 断熱資材事業部 断熱資材販売部断熱企画課 TEL：03-5338-9551

- ・媒体からのお問い合わせ 広報部 マテリアル販促宣伝課 TEL：03-5338-9387

※土・日・祝日・年末年始はお休みです。

◆「北総研防火木外壁（PUF仕様）」の外壁構成



北総研防火木外壁（PUF仕様）
 付加断熱材：硬質ウレタンフォーム